

[調査会 NEWS 711](20.10.31)

■参考情報

●本日（31日金曜）23：30からのTBS系「NEWS23」で調査会に関するニュースが放送される予定です（緊急のニュースが入った場合は週明けになる可能性もあります）。

●明日（11月1日土曜）17:00からの日本BS放送（BS11）の番組「FACE(フェイス)」で鈴木壮治・一橋総研COO、増元照明家族会事務局長、矢野義昭・元陸将補と調査会代表荒木の座談会「拉致問題と日本の再生」が放送されます。

どちらもご視聴いただけるかたはぜひご覧下さい。

また、報道関係の皆様には調査会の活動に関連した番組が放送される場合はお知らせいただければできるだけこのニュースでも周知したいと思います。ご連絡いただければ幸いです。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14：00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

ブ)のご協力でインターネットによる生中継を行いますのでぜひご覧下さい。NetLiveのホームページは以下の通りです。

<http://www.netlive.ne.jp/>

■お願い

荒木和博

各位には平素ご協力をいただいておりますが、あらためて資金協力のお願いをさせていただきます。

一昨年以来のカンパの減少は本年も歯止めがかからず、経費節減や役員の負担増、個別に支援のお願いをする等してやりくりして参りましたが、このままでは事務所機能の縮小や来年4月以降の「しおかぜ」放送時間の短縮をせざるを得ない状態になってしまいました。調査会の資金的基盤を作ることを一つの目的として設立した戦略情報研究所もそれに専念できないこともあり、当初の目的は果たせずにあります。金正日の病状や米国のテロ支援国家指定解除など動きが進むなかで活動の低下は何とか回避したいのが偽らざる心境です。

皆様には普段から多大なご支援をいただいております、申し訳ありませんが、直接のカンパ、しおかぜグッズの購入、戦略情報研究所の会員になっていただく等、ご支援を賜りますようあらためてお願いする次第です。

■参考情報（戦略情報研究所講演会）

戦略情報研究所では以下の通り講演会を開催致します。戦略情報研究所の講演会としては初めて、経済戦略に関するお話しです。参加出来ない方もインターネットでの生中継を行う予定です。ぜひご覧下さい。

1、日程：11月7日(金)18:30～20:30

冒頭約 1 時間の講演を(株) NetLive のご協力でインターネット中継します。後半はフロアの参加者との質疑応答になります。

2、場所：U I ゼンセン会館 2 階会議室（千代田区九段南 4-8-16 tel03-3288-3549）

※市ヶ谷駅下車 3 分 日本棋院斜向い（地図は下記をご覧ください）。
<http://www.uizensen.or.jp/about/index.html>

3、講師：鈴木壮治氏（一橋総合研究所統括責任者）

4、テーマ：米国発金融破綻と「サムライ資本主義」

5、参加費 2000 円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み

事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、講師略歴

一橋大学卒業後、三井物産に入社、化学プラントの輸出入およびプロジェクトファイナンス関連業務を担当。米国ペンシルヴァニア大学経営大学院・ウォートンスクール MBA 取得。その後、シティバンク、チェースマンハッタン銀行 VP としてコモディティ・デリバティブ、ヘッジファンドなどを担当。1999 年から 2000 年にかけて東京都参与を兼任し、中小企業の金融支援のために、CLO 市場創設に貢献。現在特定非営利活動法人・一橋総合研究所の統括責任者として、国際金融、外交・安全保障などの分野での提言を続け、BS イレブンの「闘論・FACA」のモデレーターも務めている。主な著書に『宣戦布告「NO」と言える日本経済』『「アメリカ信仰」を捨てよ』（以上、石原慎太郎都知事と共著/光文社）、『日本国独立宣言』（濤川栄太氏・西村眞悟代議士と共著/ ヒューマンアソシエイツ）など。最新の著書は講演のテーマと同じ『サムライ資本主義 「武士道」が「資本と力の論理」を超える』（立川隼人氏との共著

ニュースなど多国籍語を使い、北朝鮮に海外から情報を注入することは、対北朝鮮向け放送において大変重要な役割ではありますが、やはり「しおかぜ」の原点になるものは、ご家族の声であり、この声こそが、北朝鮮を打ち破る最大の力になると言っているのではないかと強く感じます。生まれ持った心の絆は決して失われる事は無いと、残されたご家族の皆さん全員がそれを証明しているからです。

一方で、そのご家族の思いを踏みにじる卑劣極まりない妨害電波は途切れることはありません。これは北朝鮮が「しおかぜ」を脅威と認め、この3年間で確実に効果を上げてきた証拠であり、昨今、一部のマスコミで報道されている北朝鮮内部に於ける「しおかぜ聴取」のニュースからも、妨害電波はますます酷くなる事は確かでしょう。私たちは北朝鮮の謀略に決して屈することはありません。逆に「なにくそ魂」で、少しでも聴き取りやすい放送と最新の情報が伝えられるよう、すべての日本国民の思いを乗せた強力な電波を北朝鮮へ向けて発信し続けます。

残念ながら通過点となった3年目を迎えてしまいましたが、「しおかぜ」が終了出来る時、すなわち拉致問題がすべて解決するその日まで、全力で放送して参る所存です。これからも皆様のご協力、よろしくお願い申し上げます。

なお、10月26日夜11:00～11:30、27日朝5:30～6:00の放送より新周波数へ変更となります。周波数については妨害電波対策（猫の目作戦）のため、しばらく公開いたしません。ご家族が確認される場合は村尾までお問い合わせください。

■ 「しおかぜネットワーク」59 組織に

しおかぜネットワークにはその後救う会岐阜（吉田安孝代表）と救う会ふくしま（菅野重信会長）が参加し、現在以下の59組織になりました。（五十音順）

ARNKA・安達俊之さんを思う会・映像教育研究会・大澤孝司さんと再会
を果たす会・河嶋功一君を探す会・北朝鮮人権委員会・経営者ブルーリ
ボンの会・国民新聞しおかぜ友の会・埼玉しおかぜの会・桜応援団・庄
内ブルーリボンの会・新風・たすけあひ機構・救う会堺・救う会秋田(秋
田地区)・救う会秋田(北秋田地区)・救う会石川・救う会いばらき・救
う会愛媛・救う会大分・救う会神奈川・救う会金沢・救う会岐阜・「救う
会群馬」群馬ボランティアの会・救う会高知・救う会埼玉東部の会・救
う会千葉・救う会徳島・救う会長野・救う会奈良・救う会兵庫・救う会
福岡・救う会ふくしま・救う会三重・救う会宮城・救う会宮崎・救う会
山形・園田一・トシ子夫妻の家族を支援する会・CHOSUN BAND
RESEARCH・つくば、しおかぜ会・電脳補完録・東京ブルーリボンの会・
特定失踪者問題調査会・長崎拉致被害者救出ネットワーク・中村三奈子
さんをさがす会・日本青少年・浜松ブルーリボンの会・東アジアネット
ワーク・東アジアネットワーク広島・ブルーリボン柏崎・古川了子さん
の救出を支援する会・法律家の会・民社人権会議・山形ビジョンの会・
山本美保さんの家族を支援する会・予備役ブルーリボンの会・拉致事案
全般研究会・拉致問題解決を目指す会・嶺南地区特定失踪者の真相究明
を願う会・ワシントンDCらち連絡会

■調査会役員の参加する講演会等の予定(公開の拉致問題に関するイベ
ントのみ)

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究
明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★11月22日(土) 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い(救
う会埼玉主催)

●さいたま市・埼玉会館(浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分)

[調査会 NEWS 677](20.10.16)

■定例記者会見のお知らせ

報道関係各位

いつもお世話になります。次の日程で定例記者会見を行います。各位にはご多忙中恐縮ですが対応賜りますようお願い申し上げます。

- 1、日時 平成20年10月30日（木）14：00～
- 2、場所 第6松屋ビル3F（調査会事務所の下 文京区後楽2-3-8）
- 3、内容 各失踪案件に関する再調査・再検討の中間報告（リストの追加等）

その他

■平沼会長への手紙の連載終了にあたって

荒木和博

本日のお手紙（和田祐介さんのお母さんのとも子さん）で、平沼会長へのお手紙・要請文書の連載は終わります。9月11日の要請当日お持ちになった方の分でこちらがコピーをできなかったものがあるかも知れませんが、いずれにしても趣旨はこれまでのものと同様だと思います。

ご理解をいただきたいのは、この思いは手紙を託された方だけでなくすべての特定失踪者家族に共通のものであり、また、それを知っていただきたいのも平沼会長のみならずすべての国会議員、政府関係者だということです。

政府は麻生政権に代わっても、これまでと同様総理や官房長官が特定失踪者の家族に会おうという姿勢は見せていません。今後選挙の具合にもよりますが、拉致議連との連携の中でこれらのご家族の声を政府に反映させるように努力して参りたいと思います。各位にもご協力賜ります

ようお願い申し上げます。

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（14）和田祐介さん
（平成14年失踪）のお母さんである和田とも子さん

※それぞれの失踪状況については調査会のホームページをご覧ください。

いつも御世話になります。

私共の息子 昭和52年1月30日生
身長は172 cm 体重は80 kg

平成14年5月7日広島県佐伯区で就職していましたが、突然無断欠勤と連絡が入り連休で島根県に5月5日友人の結婚式に出席、6日は仲良しの友人六人と焼き肉パーティをし、夕方広島へ伺い、20時頃私と電話をし無事アパートにて夕食をしているとの事でした。まさかこの時の会話が最後の言葉の交わしあいになったのかなとは思いません。

日頃は温厚で好きな事は凝りしょうな子で何ごとにも一生懸命友人にも親切でやさしい気のいい子です。

島根より大きな乗用車レグナムへ乗ってました。これも自分でオークションで見つけ、名古屋方面より務めていた会社を通じ見つけ得た愛車です。もちろん広島へ持ってゆきました。車の仲間も出来、色々グループ活動もしていた様です。アパートの部屋より持ち出したものはその車と、自動車の免許証大型車、ケン引車の免許証、自分で自動車の車検もすませ、免許証の切替えも必らず広島ですると思ってました。けれども二度目の切替えはどこにも受けた様子がありませんでした。自動車好きの息子が切替えをしないはずはありません。

そして銀行カード（自分で作った通帳）、私が持たせた郵便局のカード、出光ガソリンカード、ケイタイ電話、それと愛用していた小銭入れ、事

故があれば必ず見つけられるはず。でも今だに何の音沙汰もありません。警察にも役所にも届け調べました。何か目印があればと今だに今だにありません。

六年も過ぎました。自動車も出てきません。手がかりが全くありません。広島へ出、大きな体がだんだん細身になった様ですが、佑介は佑介で一目見れば分かります。

会いたいです。早く顔がみたいです。どこにいるのやら、助けて下さい。

残念な事に私の身体は手術の後遺症のため体調がすぐれません。遠出の出来ない身体です。

息子より早く死ぬ分けにいきません。
じっと待ってる分けにもいきません。

この度は私の弟が声をかけてくれました。かわりに何とかお願いをして、政権がいろいろと忙がしくなって、でも何とか良い方向へと御願い致します。

平成二〇年九月三日

失踪者 和田佑介 (わだ ゆうすけ) S52 1 30 生

母親 和田 とも子 S17 12 12 生

失踪者の伯父 林健 (はやし けん) S20 8 20 生

■調査会役員の参加する講演会等の予定 (公開の拉致問題に関するイベントのみ)

★10月19日(日) 13:00 秋田県民集会 (救う会秋田主催)

●秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」(JR 秋田駅

も工作活動が続いているからだ」ということです。正解ではないかも知れませんが、当たっていただいで文字通り当たり前のことなのですが、私たちは拉致事件も、北朝鮮の浸透などの工作活動も何となく過去のものであり、今はその後始末をしているような気にはなっていないでしょうか。

しかし、拉致の救出運動が始まるのは平成 9 年からですが、例えば富山の黒部川河口で見つかった水中スクーターは平成 10 年 11 月から 11 年 4 月頃の間埋められたものでした。奄美沖の工作船事件は平成 13 年 12 月のことです。先日韓国で逮捕された元正花は昨年、今年と来日して工作活動に関わっていました。

考えてみれば平成 9 年以降の失踪者でも拉致の可能性のある程度考えられる人は何人もいます。結局、勝手に終わったつもりになっているのは私たちだけだったのかも知れません。実は工作活動が変わりなく続けられていたという根拠となるものも最近色々目に付いてきています。

「生存者全員の帰国」という、政府の目標は、拉致自体が終わったものという印象を強く与えますが、決してそうではありません。私たちはこの問題をもう一度しっかりと見つめ直し、対策を考える必要があるのではないかと思います。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★10月19日（日）13：00 秋田県民集会（救う会秋田主催）

●秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」（JR 秋田駅前）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-3368-3155（松村代表）

★11月22日（土）14：00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救

が。

いずれにせよ、愚痴をこぼしていてもはじまりません。米国のテロ支援国家指定解除という、プラスにとらえれば日本がフリーハンドを持った「好機」を活かすべくやってまいります。「しおかぜ」へも一層のご支援をお願いします。

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（14）山口美好さん（昭和40年失踪）のお姉さんである長縄津由子さん

※それぞれの失踪状況については調査会のホームページをご覧ください。

08/9/8

失踪者 山口 美好
姉 長縄 津由子

謹啓

私の弟山口美好（当時二十六才）は、一九六五年三月三日に当時居住していた守口市にて見知らぬ男二人に拉致され、それ以後全く情報がつかめず、警察にも色々と調べていただいたり、当時勤務していた国鉄（現JR）の方々にもお骨折り頂きましたが、とうとう今迄何も分からずに暮れてきました。

父母も見るも気の毒なほど憔悴し毎日神仏に祈る暮しでしたが、二人とも他界しました。私達兄弟妹も色々と手を尽くし守口市役所、警察、一寸した情報を頼りに枚方、なら、大阪、守口など尋ね歩きましたが、守口市役所で65年に住民票が無くなっていることが分かっただけで、どうして、どこえ、とか何んにも分らずじまいでした。役所の方々には申し訳ないほど一生懸命探して頂きましたが、なぜ台帳から消えたのか分かりませんでした。

その頃には拉致などとは夢にも想像出来なくて理解も出来なくて大変でした。

今からそうではないかと思ったのは、お金は小銭迄のこし、国鉄の勤務手帳、他すべての持ち物が印カン迄のこされていた事です。私達には二十六才の頃の面影だけです。

せめて生死だけでも知りたいです、

何卒何卒お力になって下さい。

おねがい致します。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★10月19日（日） 13：00 秋田県民集会（救う会秋田主催）

●秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」（JR 秋田駅前）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-3368-3155（松村代表）

★11月22日（土） 14：00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★10月26日（日） 14：00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター（あいあいプラザ）

荒木和博

指定解除はヒル国務次官補が次の自分のポストのことだけを考えてやっていることで、政権の残り時間も少なくなった今、もう時間切れになったのだろうと考えていました。昨日の奈良集会でもマスコミの人から聞かれて「まあ、ないでしょう」と答えていたのですが、見込みは見事に外れてしまいました。

しかし一方で正直なところ私にはこれを望む気持ちもありました。アメリカさん頼みでやってきたことが精算され、「自分でやるしかない」と、日本人の気持ちが変わるなら指定解除のデメリットを補って余りあるメリットがあると思っていたからです。また、もっと大きな意味では日米の同盟関係が、より対等な関係に近づく契機になるとの期待もありました。当初指定解除が予定されていた 8 月 11 日が後に歴史上「日米同盟の転機となる日」として記録されるのではないかとも思っていました。

さて、これからが問題です。米国が頼れない以上、日本政府は独自の対策を取らねばなりません。その一つとしてはテロ国家指定（テロ支援国家、ではなく「テロ国家」）を北朝鮮にするべきです。元 CIA アジア部長であるアーサー・ブラウン氏も言っていますが、米国の金融危機で相対的には強くなった日本の経済力を使い、日本が金融制裁をかけることは金正日体制にとって極めて重要なダメージとなるはずです。

北朝鮮はあまり周りから言われ、国民も不審に思っていることを気にしてか、金正日の写真を出してきました。いつ撮ったものか分からない写真です。サッカーの試合を見たという報道だけでは疑念を払拭できないので、次には写真としたわけですが、この次は写真の右下に日付でも入れるのかどうか、いずれにしても体調の異常は北朝鮮当局の反応によってかえって裏付けられています。

金正日が健在であることを前提として、単なる話し合いで拉致被害者

の一部（政府が「全被害者」と決めてしまえばそれが「全部」ですから）を帰国させておしまいということはもはやできないことが明白になりました。この際政府は方針を「帰国」から「救出」へと明確に転換し、北朝鮮に対する金融制裁を初めとする圧力を自らかけるとともに、積極的な拉致被害者の情報収集、直接的救出準備を進めなければなりません。調査会でも今後早急に個別案件の洗い直しを行い、可能な情報は公開して新たな情報の収集に努めていく予定です。

米朝関係が進めば中国も介入を強めます。19世紀の帝国主義時代の再来かも知れません。日本が坐視していることは許されません。私たちの安全のためにも。この国の未来のためにも。

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（13）村田秀樹（昭和61年失踪）のお母さんである橋本つやさん

※それぞれの失踪状況については調査会のホームページをご覧ください。

いつも御世話になりありがとうございます。

今月十一日ぜひ一度よせていただきたかったのですがつごうがつかず行く事が出来ません。

息子村田秀樹が一九八一、十二月が行方がわからなくなってその間に長男平成十三、七月になくなりつらい事ばかりつづきました。

私も七十才を過ぎ元気なうちにどうしても見つかってほしいのです。

皆様方のお力をもって一日も早く元気で帰ってこられる様によろしくお願いいたします。

平成二十年九月二日

失踪者 村田秀樹

母 橋本つや

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月19日(日) 13:00 秋田県民集会(救う会秋田主催)

●秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」(JR 秋田駅前)

●代表荒木が参加

●問合せ 090-3368-3155 (松村代表)

★11月22日(土) 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い(救う会埼玉主催)

●さいたま市・埼玉会館(浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分)

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986 (竹本代表代行)

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187 又は

私は特定失踪者 屋木しのぶの妹の板谷です。

平沼先生はじめ拉致救出議員連盟の皆様には、問題解決のためお力添えいただき感謝しています。

しかし私は、政府の交渉のあり方に満足している訳ではありません。北朝鮮から“再調査”という言葉が出てくる度に“進展”と報道されますが、今の独裁体制の北朝鮮において、再調査など必要ないことは皆さんご承知のほうです。

又、数人返して見返りという構図も納得できません。

今回の再調査も誠意など存在しないパフォーマンスであると言うことは首相が変わるから由オスを見るという態度にもあらわれています。誰が首相になろうと、けっして手を緩めてはならない国の尊厳の問題だと思えます。

日本が誇りあるためにも、この問題をけっしてうやむやにしてはならないと思えます。

次世代に残してはならないと思えます。

言うべきことは、きちんと強い日本になってほしいと思えます。

日本のリーダーである皆さんの力で一日でも早く被害者全員が日本人として暮らせるようお力添えをお願い致します。

そして、皆さんの手で“拉致”を総括してください。

20才を目前にした姉が突然いなくなってから40年が過ぎました。40年を数えた時、私は、何か打ちのめされたような思いがしました。事実を知りたい。事実を知ることは、私達待つ家族のせめてもの権利だと思います。切にお願いいたします。

富山県 板谷春美

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月11日(土) 13:00 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)
- 代表荒木・理事三宅が参加
- 問い合わせ:07463-2-3024

★10月11日(土) 18:00 拉致緊急道民集会(家族会、救う会、拉致議連、救う会北海道主催)

- 札幌市・共済ホール(北4条西1丁目1番地 011-251-7333)
- 副代表真鍋が参加
- 問合せ 011-241-8141(救う会北海道)

★10月19日(日) 13:00 秋田県民集会(救う会秋田主催)

- 秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」(JR秋田駅前)
- 代表荒木が参加
- 問合せ 090-3368-3155(松村代表)

★11月22日(土) 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い(救う会埼玉主催)

- さいたま市・埼玉会館(浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分)
- 代表荒木が参加
- 問合せ 090-8815-4986(竹本代表代行)

[調査会 NEWS 672](20.10.8)

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（11）大政由美さん（平成3年、韓国慶州市で失踪）のお母さんである大政悦子さん

※それぞれの失踪状況については調査会のホームページをご覧ください。

拉致議連会長様

拉致議連会長平沼先生始め所属議員の先生方におかれましては日々拉致問題解決のためにご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

私は韓国で平成三年三月二十八日行方不明になりました娘を持つ特定失踪者家族でございます。

この度拉致問題は私の手で解決しますと言われた福田総理の突然の退陣。この先日朝実務者協議はどうなるのでしょうか…

北朝鮮が再調査に着手すれば政府は制裁の一部を解除する予定のようでございますが、政府認定の被害者帰国又は特定失踪者の真実の情報等が出ないかぎり絶対に解除しないで欲しいと願っています。

期待をしては何度も騙されてきました。

私共には時間がございませぬが一日も早く全員帰国を信じて愛媛で頑張ってまいります。

どうか北朝鮮に対して後に引かないで下さい。

日本国民を取り戻すためには強い態度で交渉をして欲しいと願っています。

どうか全員帰国の日までご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平沼先生始め諸先生方がご健勝にてますますご活躍されますことを心からお祈り申し上げます。

平成二十年九月 大政悦子
(大政由美の母)

■小浜等福井県嶺南地区の現地調査について（再送

報道関係各位

いつもお世話になります。このたび嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会（会長・千田千代和若狭町長・しおかぜネットワーク参加団体）では10月26日に敦賀で行われる集会に合わせて現地視察を行うこととなりました。今回は高敬美・剛姉弟が拉致されたといわれる小浜の岡津海岸から沖合の蒼島にかけての地域を船で現地調査する予定です。つきましては報道関係各位におかれましても取材賜りますようお願い申し上げます。

参加予定者

嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会役員

特定失踪者家族（山下春夫さん・山下貢さん・宮内和也さん家族）

地元関係者（北條正・調査会理事を含む）

調査会代表 荒木

予備役ブルーリボンの会会員（岡津海岸及び蒼島調査を支援予定）

10月25日（土）

14：00 JR小浜市役所前集合（JR小浜駅から徒歩5分）

（その後車両での移動になりますが、移動手段は各自ご準備ください）

- 14:20 岡津海岸周辺調査（海上より）
- 15:20 小浜公園付近視察（海岸道路より）
- 16:10 山下春夫さん失踪現場視察（一番町）
- 17:00 宮内和也さん失踪現場視察（世久見）

10月26日（日）

- 10:30 山下貢さん失踪現場視察（越前町） 約20分

※このすぐ近くに特定失踪者林政俊さんの失踪現場もありますのでそちらにも寄る予定です。

- 14:00 敦賀総合福祉センター（あいあいプラザ）にて集会。
- 16:30 集会終了

参加申し込みについて

船の手配がありますので、乗船して取材されることを希望される場合は

(1)会社名 (2)取材にあたっての代表者及び携帯等連絡先 (3)スタッフの人数

を救う会福井の池田欣一会長にファックスにてご連絡をお願いします（多少の追加は可能ですが、船の定員もありますので、先に申し込まれた方を優先させていただきます）。

ファックス番号 0770-52-5176（電話兼用）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

- ★10月10日（金）北朝鮮人権大学関東校（同校実行委員会主催）
- 東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021 教室（JR お茶の水駅 徒歩5分）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：070-5459-9817（宋允復・守る会事務局長）、
takane@isc.meiji.ac.jp
（川島高峰明治大学准教授）

- ★10月11日（土）13:00 奈良集会（救う会奈良主催）
- 奈良市・奈良県文化会館（近鉄奈良駅から東へ徒歩5分）
- 代表荒木・理事三宅が参加
- 問い合わせ：07463-2-3024

- ★10月11日（土） 18:00 拉致緊急道民集会（家族会、救う会、
拉致議連、救う会北海道主催）
- 札幌市・共済ホール（北4条西1丁目1番地 011-251-7333）
- 副代表真鍋が参加
- 問合せ 011-241-8141（救う会北海道）

- ★10月19日（日）13:00 秋田県民集会（救う会秋田主催）
- 秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」（JR 秋田駅 前）
- 代表荒木が参加
- 問合せ 090-3368-3155（松村代表）

- ★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）
- さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）
- 代表荒木が参加
- 問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

管の全国の身元不明死体の写真を閲覧するなどして捜しておりますが、今だ発見に至っておりません。

兄の失踪には、

- ・ 失踪直前まで連絡があり、変わった様子はなく、失踪する理由が見当たらないこと。
- ・ 平成5年6月6日に免許証の更新をしたが、新しい免許証は未受領のままになっていること。
- ・ 兄の車は住宅街近くの交通頻繁な道路上に鍵が付けたまま放置されており、貴重品等もそのまま車内に残されていたこと。

等、不審点が数多くあることから、何らかの事件に巻き込まれたことは間違いなく、私としましては、「兄は北朝鮮に拉致された可能性が高いのではないか」と考えております。

福田首相は、拉致事件の早期解決を約束されましたが、先日、首相を辞任することを表明されたことから、拉致事件の解決は後退し、遠のいてしまうのではないかと心配です。

我々、特定失踪者家族は、政府認定の拉致被害者家族と異なり、世間の認知度が低いことから、あまり大声も張り上げられず、積極的に表舞台に立つこともできません。

拉致事件が全面解決すれば、自ずから自分の兄の失踪も北朝鮮による拉致だったのか否かがはっきりします。

一日も早く拉致事件の全面解決がなされるよう強く政府に働きかけていただきますようお願い申し上げますとともに、政府内に拉致事件調査の専門部署を設けていただき、我々特定失踪者家族が何時でも相談に行ける体制づくりも併せて働きかけていただくようお願い申し上げます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月10日(金) 北朝鮮人権大学関東校(同校実行委員会主催)

●東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021 教室(JR お茶の水駅徒歩5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 070-5459-9817(宋允復・守る会事務局長)、
takane@isc.meiji.ac.jp

(川島高峰明治大学准教授)

★10月11日(土) 13:00 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月11日(土) 18:00 拉致緊急道民集会(家族会、救う会、拉致議連、救う会北海道主催)

●札幌市・共済ホール(北4条西1丁目1番地 011-251-7333)

●副代表真鍋が参加

●問合せ 011-241-8141(救う会北海道)

★10月19日(日) 13:00 秋田県民集会(救う会秋田主催)

●秋田市・あきた拠点センター アルヴェ「きらめき広場」(JR 秋田駅前)

●代表荒木が参加

●問合せ 090-3368-3155(松村代表)

★11月22日(土) 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い(救

蒸発・借金等々、色々悪い噂に泣き明かし、どんなに探し回ったか知りません。とても子煩悩で、人の世話も良くする両親でした。そして家には、15歳の弟もいました。末っ子で、可愛がっていた弟を一人置いて失踪するような両親ではありません。当時から今現在でも、一度たりとも自分の意思で出て行った事はありません。

両親はかなりの高齢になっております。もう時間がありません。子供5人もそれぞれに年を重ねて両親の年を越え、当時15歳の弟も父の年齢に近づいております。

どんなにか長い長い月日のながれです。一日たりとも両親を思わない日はありません。どんなに月日は流れても、逢いたさは募る一方です。

調査会に両親の事を御願い致しましてから、弁護士さんまで着いて下さり、県警に告発して受理され、拉致の可能性の高い失踪者になっております(1000番台リスト)。警察の方々が今また改めて一生懸命して下さいっております。両親が自らの失踪じゃない事を証明してもらうためにも、絶対に解決して頂きたいです。

これ以上に長引くことのないよう。

私たち兄弟にもう一度お父さん・お母さんと呼ばせて下さい。

孫たちにじいちゃん・ばあちゃんと合わせて下さい。

ひ孫たちにじいじ・ばあばと呼ばせて下さい。

平等に生きる権利があったはずです。言葉も文化も食生活も違う異国で、どんなにか子供や故郷を思いながら、悲しみ苦しんでいることでしょうか。自分の身内に(子供や親。兄弟がと)こんな事があったならと、自分のこととして考えてみて下さい。心が張り裂けそうです。行けるものなら、足の続く限り探し回りたい気持ちです。探しに行きたいです。せめて残り少ない限られた命のある限りを、私達と生活させてください。連れ戻してください。どんな姿になっていてもいいです。父と母を助け

て下さい。どんなにか助けを待っていると思います。議員の皆様方にするしかございません。どうかどうか宜しくお願い申し上げます。

*今、各地での署名活動などに、拉致被害者家族の市川健一様達と走り回っている現状です。

園田 一・トシ子の娘 前山 利恵子

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月10日(金) 北朝鮮人権大学関東校(同校実行委員会主催)

●東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021 教室(JR お茶の水駅 徒歩5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 070-5459-9817 (宋允復・守る会事務局長)、
takane@isc.meiji.ac.jp (川島高峰明治大学准教授)

★10月11日(土) 13:00 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月11日(土) 18:00 拉致緊急道民集会(家族会、救う会、
拉致議連、救う会北海道主催)

●札幌市・共済ホール(北4条西1丁目1番地 011-251-7333)

●副代表真鍋が参加

●問合せ 011-241-8141 (救う会北海道)

す。私の家族は兄のことになるべく触れず、親戚にも話すことなく肩身の狭い思いで長い間暮らしてきました。

そして、失踪年月の経る方の中には、人生のけじめと失踪日を命日と定め法要を続ける家族の方もおります。わが子の失踪の実態を知ろうと、探偵会社に退職金のすべてをつぎ込んだ方、探索のための広報チラシを数千枚印刷し都内のすべての警察、すべての派出所を回った父親、また、失踪した子供に対し子育てを間違ったのではないかと自分を責めるおや、高齢でからだの自由が利かなくなり何も出来ず床に伏す方々、兄弟を探していたが結婚してから時間的にも経済的にも相手への気兼ねから集会などへも今までのように出られなくなった方も大勢います。

私の親も既にありませんが、子供のことがどんなに気がかりであったことでしょう。子供に会いたいとの、切ない思いを残し亡くなった方も少なくありません。

これら失踪が惹起する年月は失踪者本人と家族にとって長く不孝な人生の悲劇であります。こんなに長くこれほど大きな精神的苦痛また経済的負担を強いているのが拉致なのであります。

この長期にわたる苦悩を与えた国の責任は重大であると考えます。

ここに私は、特定失踪者の 1 日も早い奪還と、特定失踪者全員の拉致認定が叶うようお力添えいただきたいと進言致します。

平成 20 年 9 月 11 日
小林七郎

(要請文書)

平沼赳夫拉致議連会長殿・西村眞悟拉致議連幹事長殿

要 請 事 項

1 特定失踪者を一刻も早く助け出すよう政府に強く要請いたします。

1 特定失踪者全員を拉致認定するよう政府に強く要請いたします。

1 拉致担当大臣の特定失踪者に対する姿勢について

私ども特定失踪者の家族有志（11家族）が昨8月末面会を再三にわたり求めたところ「公務多忙」を理由に会うことはなかった。このことは、常々「特定失踪者問題にも力を尽くしたい」といっている言と異なるではないか。真意を質して欲しい。

1 拉致30年前からを公言するのは止めてください。国会議員やマスコミなどが拉致の原点は昭和52年といっていますが、荒木調査会代表は昭和20年代から失踪者あるといっております。

1 政府、警察庁、外務省、公安調査庁、海上保安庁がもっている特定失踪者に関するすべての情報を公開するよう要請いたします。

なお、関係当局の過去の調査実績等を明らかにして欲しいし、これからの取り組み、計画、人員、予算など重点施策について示すよう要請いたします。

1 警察機関による拉致実行犯の徹底捜査をするように要請いたします。

1 政府が特定失踪者の実態調査を行うと併に、調査には特定失踪者問題調査会等の民間人も関与させるよう要請いたします。

1 実態調査のひとつとして失踪者の住所、氏名失踪年月日等をラジオ・テレビ等で放送してください。また、政府の北朝鮮向け短波放送「ふるさとの風」に特定失踪者家族のメッセージを流していただけるよう要請いたします。

1 拉致問題解決のために自衛隊を使うことを検討するよう要請いたします。

1 今後も拉致事件が起きないように、しっかりと安全保障上の対処をするよう要請いたします。

平成20年9月11日 小林七郎（小林 榮の弟）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★10月10日（金）北朝鮮人権大学関東校（同校実行委員会主催）

[調査会 NEWS 698](20.10.3)

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（7）今井裕さん（昭和44年年3月、青森県弘前市で失踪）のお兄さん

※それぞれの失踪状況については調査会のホームページをご覧ください。
なお、一部原文の語句の誤りを訂正してあります。

拉致議連会長 平沼赳夫様

私の弟今井裕が昭和四十四年三月二日、卒業式の前日失踪しました。

卒業式の当日は生徒を代表して答辞を読む事になっておりました。

就職も決まっており、早大の二部に進学する受験勉強も前日までして

いました。

母は五十年も前から毎日一行日誌を書いており、今でも欠かさず書いています。

失踪してから何日も無言電話が来た事を記録されています。

その中で平成四年十月二日の日誌に、男の声で“二、三日中に裕を返す”という電話があった事を書いていました。

母も八十九歳になりましたが、息子が帰る迄死ねないと頑張っています。

一日も早く拉致問題が進展する事を願っています。

平成十六年一月松前警察署に告発状を提出しました。公安調査庁盛岡公安調査事務所からも三回、事情聴取に来ました。

中山拉致担当大臣からも励ましの手紙を頂き心強く思っております。

日朝交渉を見ても、対北朝鮮に対する姿勢が弱腰になっているように思われます。

今後の交渉において強い態度で望む事を希望します。

平成二十年九月八日

兄 今井 英輝

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月10日(金) 北朝鮮人権大学関東校(同校実行委員会主催)

●東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021 教室(JR お茶の水駅徒歩5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 070-5459-9817(宋允復・守る会事務局長)、
takane@isc.meiji.ac.jp(川島高峰明治大学准教授)

★10月11日(土) 13:00 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月11日(土) 18:00 拉致緊急道民集会(家族会、救う会、
拉致議連、救う会北海道主催)

●札幌市・共済ホール(北4条西1丁目1番地 011-251-7333)

●副代表真鍋が参加

●問合せ 011-241-8141(救う会北海道)

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究
明を願う会
主催)

[調査会 NEWS 697](20.10.1)

■しおかぜネットワーク 56 組織に

しおかぜネットワークはその後にも新たな参加があり、10月1日現在以下の56組織となりました。

ARNKA・安達俊之さんを思う会・映像教育研究会・大澤孝司さんと再会を果たす会・河嶋功一君を探す会・北朝鮮人権委員会・経営者ブルーリボンの会・埼玉しおかぜの会・国民新聞しおかぜ友の会・桜応援団・庄内ブルーリボンの会・新風たすけあひ機構・救う会堺・救う会秋田(秋田地区)・救う会秋田(北秋田地区)・救う会石川・救う会いばらき・救う会愛媛・救う会大分・救う会神奈川・救う会金沢・救う会群馬・救う会高知・救う会埼玉東部の会・

救う会千葉・救う会徳島・救う会長野・救う会奈良・救う会兵庫・救う会福岡・救う会三重・救う会宮城・救う会宮崎・救う会山形・園田一・トシ子夫妻の家族を支援する会・CHOSUNBANDRESEARCH・つくば、しおかぜ会・電脳補完録・東京ブルーリボンの会・特定失踪者問題調査会・長崎拉致被害者救出ネットワーク・中村三奈子さんをさがす会・日本青少年・浜松ブルーリボンの会・東アジアネットワーク・東アジアネットワーク広島・ブルーリボン柏崎・法律家の会・民社人権会議・山形ビジョンの会・山本美保さんの家族を支援する会・予備役ブルーリボンの会・拉致事案全般研究会・拉致問題解決を目指す会・嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会・ワシントンDCらち連絡会・

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙(6)宮本直樹さん(平成14年3月、都内で失踪)のご両親

※それぞれの失踪状況については調査会のホームページをご覧ください。

私は行方がわからない宮本直樹の父親です。

我が家二男が今から六年六ヶ月前二〇〇二年三月三日に家を出てカーフェリーの中に荷物を置きざりにして本人が見当たらないとの連絡をうけ北九州の海上保安本部から二日後の三月五日に知り突然の出来事でとまどいを感じ大きなショックをうけ悲しい日々を送っているのです。

その後拉致ではないか届で調査会の方々皆様に御世話になっているのです。

いつまでも悲しんでばかりいられず集会等に参加しております。

いまでも最寄りの警察に公開そう査を依頼しポスターを作成し承認をもらい、都内の駅、繁華街、警察署、カーフェリーにのったと思われる船会社に協力を得て何千、何百枚と配布しはって頂きました。

それでも何ら情報もなく、テレビ、新聞、雑誌等に訴えつづけました。こうして家族でできることはここまでです。このように特定失踪者がいることを風化させることなくさがし続けるには国民の数多く知ってもらうことだと思えます。

今日国会の先生方のお忙しい中をこうしてお願いすることになりましたが今後共力をお借してさがし続けていきたい思いますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

宮本正栄
宮本はるみ

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあり

ます)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム (一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館 (東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096 (戦略情報研究所)

★10月10日(金) 北朝鮮人権大学関東校 (同校実行委員会主催)

●東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021 教室 (JR お茶の水駅徒歩5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 070-5459-9817 (宋允復・守る会事務局長)、
takane@isc.meiji.ac.jp (川島高峰明治大学准教授)

★10月11日(土) 13:00 奈良集会 (救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館 (近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月11日(土) 18:00 拉致緊急道民集会 (家族会、救う会、
拉致議連、救う会北海道主催)

●札幌市・共済ホール (北4条西1丁目1番地 011-251-7333)

●副代表真鍋が参加

●問合せ 011-241-8141 (救う会北海道)

★10月19日(日) 秋田集会 (救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会)

